



広島工業大学JCDセンター

～女子学生のキャリア形成支援～

広島工業大学 工学部 知能機械工学科
准教授 八房 智顯
(女子学生キャリアデザインセンター准教授兼任)

「リケジョ」(理系女子)というキーワードに表れているように、昨今、女性技術者に対する社会的なニーズが高まっています。広島工業大学においても女子学生の割合が徐々に増えており、平成27年度の入学生1,205名のうち女子学生数は132名で、1割以上を占めるようになってきています。本学では女子学生の理系分野への進出に対し、サポート体制の拡充を図っています。

広島工業大学JCDセンターについて

本学では、平成19年度に女子学生キャリアデザインセンター(JCDセンター)が設立されました。JCDセンターの設立は、当時徐々に増えてきていた女子学生が就職時に苦戦することが多いという現実と直面し、女子学生に対してキャリア形成を支援する組織の必要性が強く認識されたことによるものです。現在では、女子学生と男子学生の間で就職率の差はほとんど無くなってきており、JCDセンターによる女子学生のキャリア形成支援がその一助となっていると考えております。

JCDセンターは教員11名、職員9名(平成27年度現在)から構成される組織で、様々な学科・部署の教職員が協働で女子学生をサポートしています。JCDセンターでは、年間を通じて様々な行事・企画が行われ、これらの企画・立案、計画・実行はすべて女子学生によって進められます。女子学生が学外の企業や団体と接触・交流・共同作業を行う企画も多くあり、コミュニケーション能力やリーダーシップ力の育成・向上を図ることを支援しています。本稿では、島根不動産(株)と共同実施している「こだわりルームプロジェクト」

について紹介します。

「こだわりルームプロジェクト」について

「こだわりルームプロジェクト」は、本学や近隣大学の学生が入居対象となる一人暮らし用マンション・アパートを、女子学生の目線から快適で過ごしやすい部屋にリフォームする企画で、島根不動産(株)の深いご理解とご協力の下、平成23年度から進められています。これまでに3部屋のリフォームを行い、平成27年度は第4弾が実施されました。同プロジェクトは大きく以下の順序で進められます。

- リフォームコンセプトの具現化
- デザインやリフォームに関する講義の受講
- 1/10サイズの模型の製作
- リフォームコンセプトのプレゼンテーション
- リフォームコンセプトの選考
- リフォーム施工作业

今回の第4弾プロジェクトには23名の学生が参加しました。本プロジェクトは6月に開始し、11月にリフォームコンセプトの選考、12月に施工作业を行い、新入生の部屋探しが本格化する1月の入居者募集開始に間に合わせる事ができました。

第4弾プロジェクトで女子学生が苦労しながら「こだわりルーム」を完成させていった様子をご紹介します。

コンセプトの具現化とデザインに関する講義の受講

まず、個々の学生が考えている部屋のコンセプトを明瞭にするため、参加学生全員が部屋の雰囲気やターゲットとする居住者など、作りたい部屋のイメージをA3サイズのコピーボードに絵や文字で表現しました。製作したコンセプト

ボードを用いて、コンセプトの近い者同士でグループ分けを行い、最終的に11コンセプトに集約しました(写真1)。



写真1)コンセプトボードの例

続いて、INOTA DESIGN代表 井上珠美先生にインテリアと生活空間の調和に関する講義をしていただき(写真2)、より明瞭・明確にコンセプトを具現化するためのコンセプトボードをグループごとに製作しました。



写真2)井上先生の講義聴講の様子

デザインコンセプトが固まると、次は、グループごとに1/10サイズの部屋の模型を製作し、イメージしたデザインの内容をより具現化・詳細化していきました。模型は、建築模型用のスチレンボードを使いますが、多くの学生にとって初めて扱う素材であるため、細部の加工に苦労しながら進めました。また、模型には実際に用いる床材や壁紙を使用し、視覚的印象や質感などを確かめながら製作しました(写真3)。

「こだわりルームプロジェクト」



写真6)選考会後の集合写真



写真3)1/10サイズの模型製作

施工するリフォームコンセプトの選考

11件のリフォームコンセプトのうち、実際に施工して実現するコンセプトは1件であるため、選考会を実施しました。選考はプレゼンテーションと、模型を前にしたポスターセッションによって行われます。プレゼンテーション資料はパワーポイントを用いて作成しますが、学生の多くはプレゼンテーションを行った経験が少なく、第三者にどのように自分たちの考えを明瞭に伝えることができるか、試行錯誤しながら資料の作成と発表練習を行いました。

10月27日に開催された選考会には、審査員として島根不動産(株)高山社長をはじめとした同社スタッフ、家主様、本学副学長、JCDセンター教職員が参加しました。このように多くの方々に参加した選考会でしたが、いずれのグループも十分に準備をして臨んだため、緊張した様子が表に出ることもなく、堂々とした様子でプレゼンテーションを行って

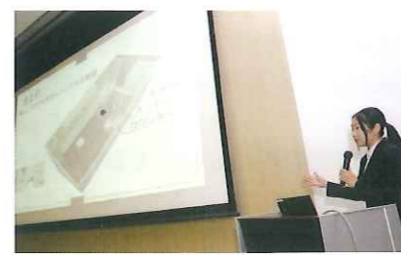


写真4)プレゼンテーションの様子

いました(写真4)。プレゼンテーション終了後には、模型を前に、審査員の方々にコンセプトの具体的な内容を細部にわたり説明しました(写真5)。



写真5)模型を前にコンセプトを説明

選考会後、11月5日に開催された表彰式で、実際のリフォーム案として採択される1件のコンセプトの発表を行いました。採択されたのは環境学部地球環境学科1年 永尾友梨奈さんの「Simple is the best」です。シンプルながら長いカウンターを採用するなど、機能性の高いデザインが評価されました。

リフォームの施工実施

選考されたリフォームコンセプトの施工は、12月に行われました。備え付けの棚など大物の撤去や、キッチン・クローゼットの設置などはプロの大工さんが行いましたが、床材・壁紙などの貼付け、細部の色塗り、小物の取付けなどは島根不動産(株)のリフォーム担当者の指導の下、週末と祝日の5日間を使って学生



写真7)施工作业の様子

自身が行いました。壁紙を貼る作業では、壁紙表面の仕上がりの良さを決める下地作りを丁寧に行う、色塗り作業では下地塗装を行ったうえで重ね塗りをするなど、普段の生活では接することがないと思われる部分の作業も含めて体験しました(写真7)。また、自分たちで実際に作業をすることでプロの技量の高さも感じられたのではないかと思います。施工は12月中に完了し、完成内覧会は1月22日に開催されました(写真8)。



写真8)完成した「こだわりルーム」

「こだわりルームプロジェクト」実施後

「こだわりルームプロジェクト」は、学生の目線から見た住みよい部屋を自身で計画し、施工・完成させます。半年間に及ぶ企画で学生たちの労力も小さくありませんが、実際に部屋が完成した時の達成感は大いようで、今回のプロジェクト実施学生においては「自分自身がこの部屋に住んでみたい」というほどです。「この企画により、考えやアイデアを実現可能な形にまとめる力、自分のアイデアを第三者にわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力、グループで共同作業を行うコミュニケーション能力や協調性、定められた工期を守る責任感など、社会で強く要求される各種要素を伸ばし、女子学生のキャリア形成の一助になっていると考えております。」